

山口市文学碑巡り No13（新山口駅北口の山頭火句碑）

山陽新幹線新山口駅北出口のエスカレーターを降りて駅舎を出ると、台形の基台の上に立ち網代笠を両手に持つ**山頭火**像が旅行者を山口に誘っています。基台には“まったく 雲がない 笠をぬき”と彼の自由律俳句が刻まれています。基台に彫られた説明書きに**昭和5年**の旅の途中で晴れた空の下、網代笠を脱いで一休みした時に詠んだ句で、彼の自筆を復元して彫ったとあります。昭和5年、どの季節に何処を旅した時の句かは説明にはありません。行乞彷徨の末に小郡に降り立った時に詠んだ句だったのかも・・・と勝手に想像してみるのも一興。尤も帰省の折に既に目にされている諸兄も多い事とは思いますが・・・。

新山口駅北口に立つ山頭火



山頭火句碑説明書き

